

第一章 ハナビラタケとは何なのか？

9

「謎のキノコ」がある日突然に

健康食品の大半は「まったく効果なし」

東京からウワサが飛んでくる①——S状結腸ガンが消えた！

東京からウワサが飛んでくる②——子宮肉腫を克服し、健康そのものに！

東京からウワサが飛んでくる③——16年悩みつづけた膠原病から解放された！

現代医学の「進歩」は幻想である

現代医学は不自然すぎる

現代医学は「対症療法」にすぎない

徹底して医療に臨みたい！

有効率78・6%の衝撃

ハナビラタケを臨床で試してみよう

第二章「キノコ博士」福島隆一教諭の快挙

37

世界初！ ハナビラタケの人工栽培に成功
キノコの世界に魅せられた人

快進撃をつづける熊谷農業高校・科学部

栽培の難易度について——ハナビラタケはデリケート、アガリクスは簡単

快挙までの悪戦苦闘・試行錯誤の道のり

次は、「いつでも作れる」闘いが待っていた

ハナビラタケが成長の遅い理由

ハナビラタケは「太古のキノコ」？

最高の食材でもあるハナビラタケ

進化していく「キノコ博士」

第三章 大量生産を実現した執念の老研究者

57

ハナビラタケの工場

細菌学者の信念

テントとロウソクのある研究室

ハナビラタケの強い抗菌作用を発見

日本食品分析センターも驚いた検査結果

副作用のないガンの薬はできないものか……

科学技術振興財団の資金サポート

第四章 「 β グルカン」の第一人者・宿前博士の太鼓判

β グルカンの奥深い世界

β グルカンに捧げた研究生活

ハナビラタケは β (1 $\rightarrow$ 3)グルカンのかたまり

効果を立証するためのマウスを使った実験

実験結果は「突出した抗ガン作用」

研究者の間でやっと広まった「ハナビラタケ」

アガリクスとの決定的な違いとは？

ガンに効かない β (1 $\rightarrow$ 3)グルカンもある

ハナビラタケはどのように免疫を上げるか？

脚光を浴びる免疫療法

ハナビラタケは「不思議なキノコ」

第五章 「ハナビラタケで人を救う」僧侶・中野道晴師

「動く駆け込み寺」と呼ばれる僧侶

亡くした実姉とダブったハナビラタケ

ハナビラタケで救われた美少女

中野流・ハナビラタケ使用法

ガン細胞がプリンのようにやわらかくなった人

再発した乳ガンが消えたという人

人工透析の淵から回復した小学校の元校長

顔見て、手にぎつて、声を聞く！

抗ガン剤治療をやめて、ハナビラタケでバンザイ三唱に至った人

最悪の直腸ガンが10分の1に退縮した元パイロット

「ハナビラタケがくれた赤ん坊」と語る二児のお母さん

第二部 ハナビラタケ臨床医学篇

121

第六章

ハナビラタケは「陽性」のキノコだった！

123

臨床には粉末が必要だ

やはり80%の有効率

ガンは陰性の病気である——食養生の基本

ガン患者にキノコは食べさせられない

化学的に割り出す植物の「陰陽」——KとNaの関係
なぜキノコなのにガンに効く？——発見！ハナビラタケの秘密
ハナビラタケ全体を大切にしたい

第七章

臨床の現場から——ハナビラタケ試用の途上にて

波動測定検査でわかる治病効果

直腸ガンから回復した北村誠氏の治療経過

健康状態が一目瞭然の「生体血液細胞分析検査」

症例1・悪性リンパ腫および糖尿病——昭和8(1933)年生まれの男性

症例2・子宮ガン——昭和22(1947)年生まれ的女性

症例3・卵巣のう腫——昭和38(1963)年生まれ的女性

症例4・子宮ガン——昭和20(1945)年生まれ的女性

症例5・不安神経症——昭和32(1957)年生まれ的女性

症例6・両側卵巣のう腫——昭和43(1968)年生まれ的女性

症例7・悪性リンパ腫——昭和2(1927)年生まれ的女性

症例8・肝臓ガン——昭和14(1939)年生まれの男性

症例9・高血圧症——昭和20(1945)年生まれ的女性

症例10・脊髄小脳変性症——昭和7(1932)年生まれの男性

症例11・乳ガン——昭和36(1961)年生まれの女性
症例12・直腸ガン——昭和13(1938)年生まれの男性
症例13・痔核——昭和36(1961)年生まれの女性
症例14・直腸ガン——大正5(1916)年生まれの男性
症例15・右乳ガン——昭和36(1961)年生まれの女性
症例16・糖尿病——昭和28(1953)年生まれの男性
症例17・痛風——昭和25(1950)年生まれの男性

終章 ハナビラタケの可能性

213

ハナビラタケは「本物」である

万人に効く万病薬などない

やはり、健康食品の大半は効果のない「ニセ物」といえる
まだまだつづくハナビラタケ効果の説明